〔人様式例２２－１〕

休 職 に 対 す る 意 見 書

１　職・氏名

教諭　 尾張 あまね

２　病　　名

抑うつ状態

３ 意　　見（具体的に観察事項及び意見を記入する）

今年度は５年２組の担任として授業・学級経営など児童の指導に精力的に取り

　　　組んできましたが、５月中旬より一部の保護者から度々苦情の電話が入るようになり、６月を迎える頃には苦情が毎日のように来るようになって、体のだるさと疲労感を感じるようになってきたと言っています。

　　　　７月に入ると疲労感がより一層強くなり、十分な睡眠と休養を取るように努めた

ものの、体力・気力が回復せず、さらにめまいと不眠の症状も自覚され、初診時の病名は「自律神経失調症」とのことでした。

　　　　現在は１０月１４日までの療養休暇を承認して養生させていますが、なかなか症状の好転が認められません。精神性疾患用の診断書を提出させたところ「抑うつ状態」との診断でした。

　　　　医師の診断では「労務に耐えうるだけのエネルギーが無い」とのことですので、　　　休職もやむを得ないことと思っております。十分に休養された後に、元気に復職

　　　されたい、と願います。

　　　　令和７年８月１２日

　　 津島市立藤小学校長 　○　○　○　○

（注）教育長と学校長の意見書は別々に作成すること。